



# 気になるあの人に チューモク!! 10

## 地域のスポーツを考える 日独スポーツ少年団同時交流

少林寺拳法財田スポーツ少年団 <sup>ほそかわるな</sup> 細川 瑠月さん(財田町・18歳)



「少林寺拳法を楽しく続けられたのは地域の人がいたから」と話す細川さん

### スポーツやボランティアを通じ地域で幅広く活動

子どもたちの心とからだを育てる大切な役割を担う地域のスポーツ少年団。

少林寺拳法財田スポーツ少年団に所属する細川瑠月さんは、7月31日から8月17日までの18日間、(公財)日本スポーツ協会が実施している日独スポーツ少年団同時交流の団員としてドイツに派遣され、現地の団員と交流しました。言葉の壁に不安を感じるも、ドイツに行くのは不安よりも楽しみの方が大きかったと話す細川さん。スポーツが盛んな現地で、ダイビング、射撃、ボクシング、アーチェリーな

ど、経験したことのないスポーツも体験しました。

「現地の団員と地域のスポーツのあり方について議論したことも面白かった」と笑顔で滞在を振り返る細川さん。

「ドイツに行つて驚いたことは、学校に本格的な部活動がほとんどないことです。多くの子どもたちが地域のスポーツクラブに所属し、放課後はそこで練習しています」

小学3年生から、10年間少林寺拳法を続けている細川さん。普段の活動では練習に加え、小中学生の指導や体験会などのスポーツ少年団本部の事業、施設清掃などのボランティア活動も行っています。

スポーツ少年団は学校の部活動とは違った良さがあると細川さんは話します。

「年齢層が幅広いため、いろいろな人と関わる中で、スポーツだけでなくあいさつや礼儀も学ぶことができます。また、子どもの数が少ない学校では部活動の数も限られますが、地域のクラブがあると子どもたちの選択肢も広がります」

地域のスポーツ振興に力を注ぐ細川さんの今後の活躍にも注目です。



▲8月26日、市長表敬に訪れ、ドイツでの活動の様子を報告しました



▲ドイツではホームステイも経験。家族とは英語やジェスチャーなどを使いコミュニケーションを楽しみました



▲少林寺拳法財田での練習。切れのある動きで技の基本を練習しています



**編集 後記**  
瀬戸芸芸会期の始まりです！取材を通じて強く感じたことは、瀬戸芸は芸術家、ボランティア、スタッフ・・・関わる全ての皆さんが力を合わせて作り上げているということ。  
栗島会場には海洋環境にまつわる作品も多くあります。芸術を楽しみながら海の環境問題についても思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

「広報みとよ」をアプリで配信しています  
スマートフォンやタブレット向けの無料アプリ「マチイロ」でも広報みとよをご覧くださいませ。



※アプリは無料でダウンロードできますが、情報の受信には通信料が必要です。



▲アプリのダウンロードはこちらから

**季節のお便り募集**  
暮らしのエピソードや風景写真、広報の感想を募集しています。住所、氏名(ペンネーム)、電話番号を明記の上、写真や文章を添えて秘書課へ郵送またはメール(hisho@city.mitoyo.lg.jp)でお送りください。  
▶問い合わせ 秘書課 ☎73-3001